



第96回地区メーデーを開催

第96回花巻北上和賀地区メーデー（実行委員長 高橋信秋 連合花巻北上地協議長）は5月1日（木）14時より、花巻市文化会館（大ホール）にて開催し、来賓・組合員等約330名に参加いただきました。

主催者あいさつで、高橋実行委員長は大船渡山林火災に続き各地で発生した山林火災により、被災された方々にお見舞いを申し上げ、連合としても支援活動を行っていることを報告。

また、世界に目を向けると、各地での侵攻、紛争が続いており、今もなお多くの命が危機にさらされている。我々は改めて平和の尊さを再認識し、即時停戦を強く求め、引き続き声を上げていきましょう。

春闘については、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015年闘争以降の最終集計結果と比べ、額・率ともに最も高い結果で、昨年同時期を上回りました。しかし、この数字は組合加入組織の一部でしかありません。物価高の影響は収まらず、賃上げをする体力のない多くの中小（企業）は未だ悲鳴を上げています。

労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、恒久平和の希求等に貢献してきた本メーデーの意義は今も昔も変わるものではありません。

すべての仲間が連帯し力強く行動しよう、とあいさつ。

御来賓を代表して、上田花巻市長、八重樫北上市長、内記西和賀町長よりご祝辞をいただきました。



プラカードコンクールは、以下の4組合が参加。

- ・JR 東労組一関支部北上連合分会
- ・キオクシア岩手労組
- ・ジャパンセミコンダクター労組岩手支部
- ・北上市職員労組

それぞれ、職場の課題や不満などを持参したプラカードでアピール、来賓による投票の結果、ジャパンセミコンダクター労組岩手支部が最優秀賞となりました。

また、大船渡大規模林野火災の復興支援として三陸物産品等が当たる抽選会を開催。あわせて「愛のカンパ」への協力をいただいた結果、9,119円が集まりました。

ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

最後に団結ガンバローを三唱した後、市内をデモ行進し、メーデーの起源や働く人すべての処遇改善等を訴えました。

